

受け継ぐ伝統、新たな歩み

募金を活かしてさらに前進

2016年7月から募集を開始した新世紀募金、今年4月からは2020年の創立百周年に向けた記念企画を用途に加え、さらなるご支援をお願いしてまいりました。皆さまのご理解・ご協力により、おかげさまで学校の発展に大変貴重な財源となっております。年度の中間を迎え、現時点での状況を報告いたします。



栄えある100年から、
さらに輝く新世紀へ。

土佐中・高等学校

☆募金の現状 【平成30年9月末現在 161,262,038円】

*募金者の関係別金額

区分	件数	金額
卒業生	1,088	153,205,500
在校生・保護者	282	4,091,673
法人	13	2,050,000
一般	7	370,000
その他	109	2,081,691

*募金の用途別金額

用途	件数	金額
教育環境の整備	754	120,446,191
生徒の奨学資金	248	26,914,000
クラブ活動	313	8,029,000
100周年記念企画	255	6,409,500

*指定クラブ別金額

指定クラブ	件数	金額	指定クラブ	件数	金額
指定なし	21	207,500	剣道	6	140,000
ギター	2	30,000	高校野球	37	1,134,000
サッカー	29	1,293,500	合唱	1	10,000
ソフトテニス	9	180,000	自転車	3	60,000
ソフトボール	8	365,000	柔道	6	190,000
テニス	19	350,000	書道	3	50,000
バスケット	14	493,000	吹奏楽	13	155,000
バドミントン	32	552,000	水泳	11	411,000
バレーボール	4	80,000	総合科学	2	110,000
ハンドボール	12	170,000	卓球	6	90,000
英語研究	1	30,000	茶道	5	50,000
演劇	3	22,500	中学野球	1	5,000
応援	1	42,000	登山	4	600,000
華道	1	30,000	美術	2	20,000
棋道	2	20,000	文芸	1	20,000
弓道	16	345,000	放送	3	62,500
空手道	3	30,000	陸上競技	18	360,000
軽音楽	13	301,000	写真	1	20,000

☆募金の使い途～三つに絞って

いただいた募金は、さまざまな形で使わせていただいておりますが、とくに、重要と思われる三つに絞ってお知らせします。

1) 生徒・教員が海外で研修するようになりました

【この2年間の募金からの活用金額＝12,328,567円】

募金をもとにつくった教員の海外研修制度を活用して、2人が1年間、4人が短期の研修に出かけました。一方、生徒も新しい留学制度により1人が1年間のカナダ留学を終えて、元の学年に復帰しました。さらにこの夏休みには、中3～高2の19名が2週間のニュージーランド語学研修を行いました。それぞれ、期待以上の成果をあげています。ニュージーランド研修に参加した生徒の感想です。

「このNZ研修は私をとて大きく変えてくれたように感じます。自分で片付け、洗濯などをしなければならず、今まで親に頼りきっていたんだと気づき、自立するきっかけとなりました。また、大げさかも知れませんが、いままで曖昧だった将来の夢が確実となりました。この研修は私の高校生活、いや、人生にとって、とてもすばらしい経験となり宝物になったに違いありません。（中略）この経験はきっと自分自身の視野を広げてくれます。私はこの研修を心からみんなに薦めたいと思います」

2) 生徒の奨学資金に大きな援助をいただきました

【この2年間の募金からの活用金額＝12,346,675円】

他県の私学に比べ、家庭負担を低い水準に抑えているとは言え、私学に子どもを通わせる経済的負担は相当なものがあります。

「土佐よりの人材輩出」を希う本校への受験を、経済的理由で断念する生徒はできる限り出したいくない。そうした思いで、国や県の就学支援制度に加え、学校独自の付加措置を行っています。

この支援を受けている生徒数は平成29年度、高校が96人、中学校が25人です。今年度は高校94人、中学校が21人です。

それに対する負担の合計が上記の金額です。募金をいただかなければ、この学校独自の付加措置は継続することが困難になるところです。本当に有り難いことと思っております。



3) 施設・設備の充実をいっそう進めていかなければなりません

新校舎建築に伴う借入金の返済はまだ続いておりますが、施設・設備の拡充は避けて通ることはできません。これまでも、大学入試新テストや新指導要領の実施を見据えてのICT機器の導入について、募金を使わせていただきました。今後もこの面については、積極的に取り組んでいかなければならないと考えています。一方、新校舎建築の中で取り残された格好の弓道場とプールの改修も大きな課題です。とくに、大阪北部地震で問題となったことから、ブロック塀の点検を行ったところ、やはりこの弓道場とプールの周りの塀に問題が見つかりました。改修はどうしても行わなければならないということですが、これには大きな財政負担が必要です。

その他にも、これからの百年のためにやるべきこと、やりたいことはたくさんあります。その意味でも、新世紀募金にいただくご支援は本当に大きな力となります。今後とも、皆さまのご協力を心からお願い申し上げます。

(以上 文責 校長 小村 彰)

募金申し込み方法などはホームページをご覧ください。口座振込用紙のお申し込みや募金についてのお問い合わせは、事務局までお願いいたします。

土佐中・高等学校【新世紀募金会事務局】

〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL 088-833-4394 FAX 088-833-7373

E-mail kifuf@tosa.ed.jp ホームページ <http://www.tosa.ed.jp/>